

地元特産品を活用した商品開発

支援機関 愛媛県中小企業団体中央会

支援内容 商品開発

支援区分 新商品開発

企業組合 遊子川ザ・リコピンス

事業者概要

社名/企業組合 遊子川ザ・リコピンス

代表者名/代表理事 辻本 京子

業種/食料品製造業

所在地/西予市城川町遊子谷2370番地1

資本金/260,000円

設立/平成28年6月3日

従業員数/19人



西予市産のトマトを使用したケチャップとポン酢

支援に至る経緯

遊子川地区は、四国山地に連なる急峻な山嶺に囲まれ平野部は少ないものの、農業が基幹産業となっている。ここで生産される大玉トマト（桃太郎トマト）は、酸味と甘味のバランスのとれた高品質なトマトとして知られ、県内では久万高原町や中山町に並ぶトマトの生産地となっている。

しかし、農業を取り巻く状況は厳しく、価格低迷による所得減少から農家の生産意欲が低下しており、加えて地域の過疎化・高齢化により生産者の担い手が不足していることから、産地としての存続が危惧されている。

そこで、この状況を少しでも改善すべく、「遊子川地域活性化プロジェクトチーム」を設立し、地域活性化に向けた取組みが始まった。

この任意グループで地元のトマトを使った商品開発などを行っていたが、活動の更なる飛躍を求めて組織化について検討を行い、本会指導のもと企業組合遊子川ザ・リコピンス（以下、「組合」という）を設立した。これにより愛媛県中小企業団体中央会（以下、「本会」という）との関係が強化され商品開発等についての支援要請があった。

支援内容

当組合が抱える課題には、(1) 商品アイテムの少なさ、(2) 生産設備の脆弱さ、(3) 販路の乏しさ、(4) 知名度（ブランド力）の低さに加え、組合には資金的な余力もなくマンパワーも不足していた。

そこで、公益財団法人えひめ産業振興財団の「地域密着型ビジネス創出助成事業」を活用し、平成28年8月から商品開発・生産設備の導入・販路開拓等に取り組むこととなった。

これにより、充填機・攪拌機等の設備を導入することができ、ドレッシング、生パスタ等の試作品を製作し新商品の開発を行っている。

また、本会で取り組んでいる「えひめプロダクツ市場開拓支援事業（食品のブラッシュアップ支援）」により、専門家を招聘し試作品および既存商品の製造方法・パッケージなどについてブラッシュアップを行い、製造から販売までを見据えたトータルな支援を行っている。

支援の効果

生産設備の導入により、生産能力が向上し衛生面でも大幅な改善を図ることができた。

また、新商品を製造するための製麺機等を購入したが、補助金により少ない自己負担で商品のラインアップを増やすことができたことは、経営基盤の脆弱な組合にとっては大きなメリットになった。

また、本会の支援により、無料で高度な専門知識とネットワークをもつ専門家の支援を受けることができ、味などの品質の向上はもとより食品表示に関する指導や首都圏における消費者の嗜好についても情報提供を受けるなど、今後の新商品開発、販路開拓の取組みに大いに参考となっている。



今後の展開

今後は更に商品開発を推進してアイテムを拡充するとともに、首都圏等の展示会にも積極的に出展し販路拡大に努め、販売高の増加と新商品及び地場産品の知名度（ブランド力）向上を目指す。

また、過疎化・高齢化が進んでいることから農業従事者の受入を行い、トマトの生産高の増加と安定供給等にも取り組んでいきたい。

組合の活動により地域の雇用拡大と生産者の所得向上を図り、地域活性化に貢献していくことも目標としている。



事業者の声

任意団体を法人化するにあたり、どのような形態にするか迷いましたが、公的支援を受けるには組合組織化が有効であるとの判断から、企業組合を設立しました。

不慣れな申請書作成に始まり、商品開発の製造から販売まで様々なことを手取り足取りで指導いただき、おかげさまで予想以上の成果が期待できるまでできております。

私ども組合の発展とともに、過疎化の進む当地域の活性化に貢献できましたら幸いです。



代表理事 辻本 京子

支援者の声

理事長を始め組合員の皆様の組合運営に対する熱意を感じており、非常にやりがいをもって支援させていただいております。

本会には地場産品を活用した商品開発についてのノウハウの蓄積がありますので、今後も皆様の期待値以上の成果を出していけるように引き続き支援をしていきます。



愛媛県中小企業団体中央会
産業支援課 課長
担当者 二宮 誠司